

<大会概要>

期間：2023年6月24日～7月1日

会場：アメリカ合衆国イリノイ州ピオリア

区分：Major

<結果>

ジュニア部門**41位**タイ（セミファイナル進出）

<サイドイベント>

ダブルス：10位

ロングドライブ：33位

パッティング：19位

スキルショット：31位



2位タイのWaden選手、Patrick選手

<概要>

ずっと出場したかったPDGAジュニア世界選手権に参加してきました。新型コロナウイルスの流行のため海外へ行くのが難しかったり、日本での試合がキャンセルになったおかげで試合数が足りずに出場権が得られなかったりしましたが、今年はずいに参加することができました。

土曜日のダブルスから始まり、日曜日のロングドライブ、パッティング、スキルショットに出場しました。月曜日に練習をして、火曜日から4日間で4ラウンドと、土曜日の準決勝1ラウンドを戦うことができました。41位と悔しい結果になりましたが、1ラウンド目は一時的にトップに立ったり、ずっと調子が悪い中でも準決勝には残れたりしたこと、同年代の実力のある友達がいっぱいできて、今もインスタのダイレクトメッセージでやりとりできているのは、貴重な経験になりました。また絶対もう一度挑戦したいと思っています。



ジュニア部門入賞者



5位のLevi選手

<謝辞>

今回の大会参加にあたり、道具、ユニフォーム、遠征費の補助をいただいたクラブジュニア様、ねぎちるの皆様、公休取得のためにご尽力頂き、遠征費の補助も頂いた日本ディスクゴルフ協会様、ディスクを協賛していただいたカリスバー様、カートを貸してくださったMAMEZZO様、ずっと発信をしてくださっていたDisc Golf Navi様、D.ch.様をはじめ、SNSでずっと応援してくださった全ての皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

<6/23 金曜日>

・ホテルに17時頃に着いた後、ダブルスのパートナーを組む Kyle くん（香港から参加）から誘ってもらったので、Eureka Parmanent まで軽く練習に行くことになりました。18ホールを回って、19時くらいに練習を終えることができたので、いい時差調整になりました。緯度が高いため、20時を過ぎても明るかったのが驚きました。



ダブルス2ラウンド目のパーティー。
一番右がKyleくん

<6/24 土曜日>

香港のKyleくんとダブルスを組むことができたので、プレーすることができました。コースは、Kennel Lakeで、本戦ではプレーしないコースでした。1ラウンド目、2ラウンド目ともに変則オルタネート方式で、1ラウンド目は全ショットがベストディスク方式（ただし、ティーショットのみ、同じ人のティーショットは2ホールまでしか連続で選べない）、2ラウンド目は普通の変則オルタネート方式でした。1ラウンド目はチャンスが2回あって思い切ってプレーできるため、お互いのプレーをカバーできて上手く回れたと思います。2ラウンド目は、移動の疲れと眠さで集中しきれなかったため、僕のティーショットやアプローチにミスが多くて、結構迷惑をかけてしまいました。結果は13組中10位で、悔しい結果だったけど、時差調整をしながら楽しくラウンドできました。

昼食休憩中に、Mattさんが話しかけてきてくれました。Jeremy Koling選手やSimon選手とも友達で、僕も動画で見たことがある人でした。Podcastの配信をしているらしく、発音がすごく聞き取りやすかったです。Mattさんがその場でJeremy選手に僕と一緒にいるよとメッセージを送って、Jeremy選手から、「Kentaがんばれ」とメッセージをもらいました。この時、ちょうどプロツアーをやっているDes Moinesがそんなに遠くない（片道4時間）という話を教えてもらいました。

<6/25 日曜日 パッティング>

パッティングコンテストは、1つのゴールに対して、3箇所（だいたい4m, 8m, 12mくらい）の3つの場所からパットを投げる形で、ゴールが8箇所ありました。近い方から1点、2点、3点で、合計得点で競います。風がすごく強く、ディスクが浮いたり沈んだりしたので、苦労しました。1、2点もかなり外したのですが、3点を3本くらい入れて、合計16点でまずまずの成績を残せました。



<6/25 日曜日 スキルショット>

スキルショットは、ゴールに対して、複数の箇所から指定された投げ方で投げるものでした。ゴールに入れば-1点、それ以外はゴールに近い方から、距離によって2,4,5,6,8点(正確な数字は忘れました)が与えられ、合計得点が低い方が良いという競技でした。ショットの種類は、普通のパットスタイルから、バックハンド、フォアハンド、アップサイド、膝を着いたもの、ローラー、ストラドル、などさまざまな投げ方が必要で、ゴールは5ホールあり、後半になると150フィート先のゴールを狙うので、アプローチの精度が要求されます。初めの方はパットが入ったりしてかなり成績も良かったのですが、途中から全部ゴールに入れるのを狙いにしてしまい、大きく逸れてしまうショットがいくつか出てしまったので、最終的には成績はそこまで良くなかったです。

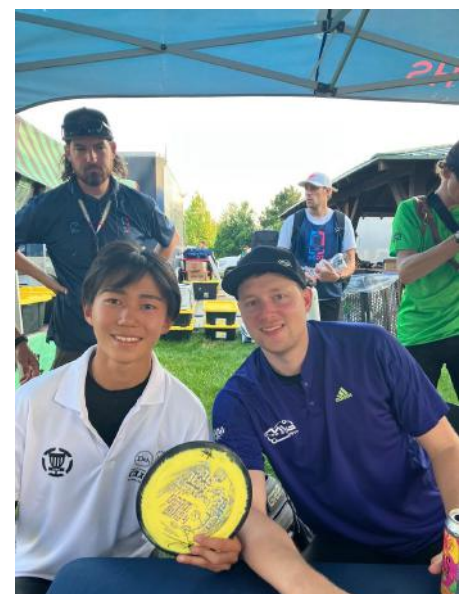
<6/25 日曜日 ロングドライブ>

通常のディスタンスとほぼ同じですが、左右の投げられる範囲が決まっていて、それを超えるをOBとしてカウントされないのは個人総合選手権のディスタンスと違いました。追い風が非常に強く、上手く風に乗せられずに距離が伸びませんでした(474フィート=145mくらい)。無風でももう少し投げられるので、風にのせる技術と運が必要だったと思います。ただ、最長距離は670フィート(207m)で、これは何があっても投げられそうにないので、すごいと思いました。



<6/25 日曜日 <日曜日 番外編>

ピオリアから車で4時間くらいのDes Moines(デモイネ)で開かれていたプロツアーの決勝が日曜日で、16:40スタートの最終組に僕の好きなSimon選手が残っていました。フィールドイベントが終わった時点で12時過ぎだったので、Des Moinesまで連れて行ってもらい、現地でプロツアーを観戦することができました。迫力のあるプレーを生で見ることができ、Calvin選手、Ricky選手、Simon選手のサインをもらい、写真も撮ってもらうことができ、嬉しかったです。



<6/26 月曜日 練習>

月曜日は午前にMcNaughtonで練習しました。ちょうど一緒になったMJ 15の選手たちと回ることで、コースを教えてもらいながらラウンドしました。

午後はSunset Hillsで練習しました。住宅街の中に突然ゴルフ場がありました。初めて人が乗れるゴルフカートを使いましたが、すごく楽にラウンドできました（本戦ではゴルフカートはルール上使用できません）。



<6/26 プレイヤーズミーティング>

ホールを借りての開会式で、日本からの参加は僕1人だったので、日本の国旗を持って壇上に上がるチャンスがありました。

プレイヤーズミーティング後のフライマートのところで、Mattさんと話をしました。Des Moinesに行ってきたことを話したら驚いていました。Mattさんにニュージーランドで配信をしている人が話しかけてきて、その人と一緒に行動していたLeviくんと話をしました。Leviくんの知り合いがジャパンオープンに来ていて、ジュニアワールドでLeviくんに会えるという話をしていたので、実際に会えて嬉しかったし、すぐ仲良くなりました。

フライマートで、ディスクゴルフ用のサングラスとかを作っているhyzer1というショップの人と話した時、僕が日本から来たという話に驚いて、商品のサングラスを1つプレゼントさせて欲しい、と言ってきて、実際にサングラスをもらってしまいました。すごくいい人でした。



<6/27 火曜日 第1ラウンド>

1ラウンド目は広くて距離の長い **Sunset Hills** で、得意なコースでした。フィーチャーカードに入れてもらい、カナダの **Conall** 選手（ロングドライブで**670**フィートを投げた選手）、アメリカの **Waiden** 選手（最終2位）、ニュージーランドの **Levi** 選手（最終5位）とのラウンドでした。PDGAの公式 **Youtube** で見られますので、ぜひ見てみてください。

緊張して1番ホールの長くないバーディーパットを外したのと、3番のティーショットをOBしてしまったミスは出たましたが、14番ホールまではバーディーも多く取れて良い感じで回っていました。15番ホールでは、左側のOBに入れてしまいましたが、このホールもなんとかボギーで耐えられました。17番は、待ち時間が長くりズムを崩してしまい、マウンドトリーをミスした後に、パーパットを狙って外して坂を転がってしまい、ダブルボギーになってしまいました。18番も練習ではほぼバーディーが取れたいたホールでパーに終わってしまい、最後の4ホールは悔しい結果になってしまいました。

ただ、一緒に回ったメンバーは、うまくて良いメンバーで、仲良くなれたのは良かったです。

<6/28 火曜日 第2ラウンド>

2ラウンド目は **McNaughton** でほぼ林間のコースだった。ある選手のキャディーが、パットの時に動く、話す、をして、止めようとしたけど手からディスクが離れてしまい、パーパットを外してしまいました。このあと、このキャディーのマナーの悪さがずっと気になってしまい、イライラしてリズムが崩れてしまいました。（お父さんから注意してもらって、I'm sorry とは言われたけど全然直らなかった）。

それから、大気汚染のために途中で一旦中断が入ってしまい、その後の再開は難しかったです。大気汚染のニュースは1ヶ月ほど前に学校で聞いたことがあって、まさか自分に関係するとは思わなかったです。それでも、他のコースでは中断から再開できなかったところも多くあり、アマワールドは次の日から朝6時のティータイムスタートとかになっていましたので、プレーを終えられたただけ良かったかもしれません。

<6/29 水曜日>

この日は大気汚染がひどくて、朝の時点でプレーが再開できませんでした。その後も何度か情報のアップデートがありましたが、結局最後までプレーが再開できなくなりました。この影響で、最終的に1ラウンド分少なくなり、セミファイナルが **Sunset Hills** から **Eureka Permanent** に変更になりました。 **Sunset Hills** は得意なコースなので、後から考えると、これも順位に影響したような気がします。

コースは使えないものと思って、ショートホールのコースでお父さんと一緒に軽く練習しました。後から聞いた話で、 **Kyle** くんは **Eureka** で練習していたらしいので、僕も練習すれば良かったと思いました。



この練習の時に、なぜかお父さんがエースだしました。

<6/30 木曜日 第3ラウンド>

大気汚染の影響は残っていましたが、プレーは可能な状態だったので、なんとか回ることができました。朝8時から Eureka Permenent で、Ryan 選手、Jackson 選手、Connor 選手とのラウンドでした。このコースは林間とオープンなところの両方あって、比較的好きなコースでした。ラウンドが終わってお昼ご飯を食べてホテルに戻ったら、雷と風と雨がすごくなったので、僕はギリギリセーフでしたが、アマチュアとかのカテゴリーは影響を受けていたみたいです。この3選手は上手くて、一緒に投げていて楽しいメンバーでした。Ryan選手は18歳なので、来年度はプロ部門で戦うそうです。



<7/1 金曜日 第4ラウンド>

この日は12時00分予定のティータイムで、2ラウンド目と同じMcNaughtonでのラウンドでした。ティータイムだとコースでは練習できないため、WestWoodにあるコースで練習しましたが、WestWoodのコースは難しかったです。練習の時からショット、パット共に合ってなくて、心配でした。途中で雷がなったため、1時間ほど中断になり、13時20分スタートに変更になりました。2ラウンド目にバーディーがとれた1番ホールでボギー、3番ホールでもボギーを出してしまい、嫌な予感（最終的に-3くらいで終わりそう）がしました。この日も残念ながらマナーの悪いキャディーと一緒にいました。メンタル面では、3日目までとは違って、ミスが出て切り替えてプレーはできていましたが、やっぱり体の感覚が合ってなくて、ティーショット、アプローチもあまり寄らず、ずっとほぼ入っていたサークル1のパットをいくつも外してしまいました。それでもなんとかセミファイナルには残ることができました。



<7/1 土曜日 セミファイナル>

セミファイナルはももとの予定から変更になって、Eureka Permanentでのラウンドでした。3ラウンド目でも一緒に回ったRyan選手のプレーがすごかったです。僕も途中までは良いプレーができていましたが、最後の6ホールくらいで6番ホールのティーショットのミスからリズムを崩してしまい、得意だった11番でもティーショットが右に曲がって藪の中に入ってしまった。



<7/1 番外編>

決勝を見終わった後、少し時間があり、お父さんがどうしても投げたいと言ったので、SunSet Hillsをラウンドしました。



<全体を通して>

しっかり集中できて、感覚がずれていなければ、サークル1内のパットはほぼ入って、サークル2のパットもかなり入りました。パットの成功率は、高いレベルで戦う上で武器になるので、磨いていきたいと思います。ジュニアワールドに出ている海外選手は、ほとんどがスピンパットを打っていて、15m以内ならほぼカゴには当ててきます。

ティーショットの飛距離は、十分に通用していたと思います。来年からプロで戦う Ryan 選手からも、"Kenta, You got a distance."と言われたし、ここも伸ばしていきたいと思います。

サイドは、低いまっすぐなラインはできるようになってきて、飛距離も伸びてきましたが、地面に刺さることがあるので、精度を上げていきたいと思います。海外の選手は、サイドのフレックスショットでも飛距離を稼いでいたので、そういう投げ方も練習していきたいと思います。

海外の選手は切り替えが上手だと感じました。ミスショットをした直後は悔しくて地面を叩いたりしますが、次のショットにはさっと切り替えができていように見えました。このあたりのメンタルのトレーニングも大事だと感じました。

世界中の同年代の友達がたくさんできたのは良かったです。特に上手い選手と友達になれたのは大きく、SNSなども使って、今後も交流していきたいと思います。最終順位2位タイのPatrickくんは8月中旬にお父さんの会議が幕張で開かれるのについてくるらしく、一緒に投げる約束をしました。8/12のひたちマンスリーと一緒に行く予定です。

何人もの選手から、来年もくるのか？と聞かれました。わからないと答えましたが、今回は悔しい結果だったし、年齢的にはあと2回チャンスがあるので、ぜひ決勝に残れるようにしっかり練習して頑張りたいと思います。ジュニアワールドに再挑戦するために、来年以降もアマ登録のまま、MPOの試合に出ながらプレーの質を上げていきたいと思います。

これまで英語の勉強は、他の教科と比べて頑張ってきたお陰で、海外選手ともなんとか英語でコミュニケーションをとることができて、少し自信になりました。アクセントのクセの強い人の英語は少し難しいですが、周りの人が簡単な英語に言い換えたりして助けてくれるのでラウンド中のコミュニケーションは困らずにできたと思います。

時差調整は、行きの飛行機でいいタイミングで寝られたのと、シカゴからピオリアまでの車の中で、お父さんに何度も起こされたので、まあまあうまくできたと思います。月曜日くらいにはほぼ時差ボケも無くなりました。

<食事面>

- はじめの頃の外出はピザやハンバーガーなどになってしまい、タンパク質をしっかり摂ろうとするとマクドナルドが一番ヘルシーという変な感じになりました。
- ステーキは高かったけど美味しかったです。
- スーパーでカップ麺が売っていたので、それも何度か食べました。
- メキシカンのお店はなかなか良かったです。プレイヤーズパーティーの料理も、ビュッフェ形式だったけど、メキシカンとよく似ている感じでよかったです。
- 外で食べると高いけど、スーパーで買う素材は安いので、パンとハムと野菜を買ってサンドイッチを作ると良さそうです。
- ビーフジャーキーはうまかったです。